

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10581002				
授業名	経済構造と経済政策 C	形態	講義	単位	2
担当教員	木村 武雄				
開講学期	2018年度 前学期	曜日・時限	水曜2限		
授業目的	経済現象に関心を持ち、基本的な日本経済の構造・政策を理解できるようになることが本講義の目的である。用語の解説とともに統計データからわかる現状を示し、データからわかる日本の経済構造を理解する。				
授業内容	日本の経済構造と経済政策を理解するために、日本経済に関する統計指標、雇用、産業・企業の動き、経済政策のポイント、日本経済の構造的課題、国際経済等のトピックを取り上げる。				
到達目標	講義内容で取り上げたトピックを中心に経済の仕組み及び現状を理解する。その上で、自分なりの意見を持ち、日本の経済政策について説明できるようになる。				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。				
授業形態	教科書に準拠した講義形式が主であるが、一部グループワークを導入する。				
事前・事後学習の所要時間	事前学習合計 30 時間、事後学習合計 30 時間。				
テキスト	①木村武雄『地方創生と日本経済論』五紘舎 ②木村武雄『10カ国語経済・ビジネス用語辞典』創成社				
評価方法	講義参加及びグループワーク、小テスト、授業内試験により総合的に判断する。				
評価基準	1. 講義出席及び受講態度、グループワーク 20点 2. 小テスト 30点 3. 授業内試験 50点				
試験・レポート等のフィードバック	随時試験の結果は、授業内で解説する。				
注意事項及び履修条件	教科書①及び教材②は常に持参すること。				
S : 100~90、A : 89~80、B : 79~70、C : 69~60、D : 60未満					
第1回					
事前学習	教科書を読んで講義内容を把握する。				
授業内容	オリエンテーション・本講義の内容及び進め方の説明				
事後学習	今後のスケジュールの確認				
参考文献					
第2回					
事前学習	教科書（第2部第1講）に目を通す。				
授業内容	近代化以前の日本経済				
事後学習	教科書（第2部第1講）研究課題				
参考文献					
第3回					
事前学習	教科書（第2部第2講）に目を通す。				
授業内容	近代化の意味と日本				
事後学習	教科書（第2部第2講）研究課題				
参考文献					
第4回					
事前学習	教科書（第2部第3講）に目を通す。				
授業内容	世界史に於ける近代化と日本				
事後学習	教科書（第2部第3講）研究課題				
参考文献					

第5回	
事前学習	教科書（第2部第4講）に目を通す。
授業内容	高度成長と日本
事後学習	教科書（第2部第4講）研究課題
参考文献	
第6回	
事前学習	教科書（第2部第5講）に目を通す。
授業内容	インフレと日本
事後学習	教科書（第2部第5講）研究課題
参考文献	
第7回	
事前学習	教科書（第2部第6講）に目を通す。
授業内容	バブル経済と日本
事後学習	教科書（第2部第6講）研究課題
参考文献	
第8回	
事前学習	教科書（第2部第7講）に目を通す。
授業内容	デフレと日本
事後学習	教科書（第2部第7講）研究課題
参考文献	
第9回	
事前学習	教科書（第2部第8講）に目を通す。
授業内容	金融制度と日本
事後学習	教科書（第2部第8講）研究課題
参考文献	
第10回	
事前学習	教科書（第2部第9講）に目を通す。
授業内容	景気循環と日本
事後学習	教科書（第2部第9講）研究課題
参考文献	
第11回	
事前学習	教科書（第2部第10講）に目を通す。
授業内容	世界企業と日本
事後学習	教科書（第2部第10講）研究課題
参考文献	FORTUNE、ASIA PACIFIC ,AUGUST 1 2017.
第12回	
事前学習	教科書（第2部第11講）に目を通す。
授業内容	環境問題と日本
事後学習	教科書（第2部第11講）研究課題
参考文献	
第13回	
事前学習	教科書（第2部第12講）に目を通す。
授業内容	世界貿易と日本
事後学習	教科書（第2部第12講）研究課題
参考文献	
第14回	
事前学習	教科書（第2部第13講）に目を通す
授業内容	世界の直接投資
事後学習	教科書（第2部第13講）研究課題
参考文献	

第15回	
事前学習	これまでの学びに関する総復習
授業内容	試験・試験の解説及び振り返り
事後学習	試験の振り返り
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p>&lt;DP-1&gt;  <b>【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】</b>  社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p>&lt;DP1-（1）&gt;  日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-（2）&gt;  情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-（3）&gt;  問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-（4）&gt;  人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p>
-----------	---